

平成31年第6回筑紫野市教育委員会定例会

○日 時

平成31年4月24日（水）午後2時01分から午後3時30分

○場 所

筑紫野市役所 301会議室

○出席委員（5名）

教育長	上野 二三夫	教育委員	近本 明
教育委員	潮見 眞千子	教育委員	田代 邦夫
教育委員	西村 幸子		

○欠席委員（0名）

○出席説明員（11名）

教育部長	長澤 龍彦	教育政策課長	森 敬
学校教育課長	吉開 和子	学校給食課長	倉掛 伸夫
生涯学習課長	檜木 理恵	文化財課長	宮原 博揮
文化・スポーツ振興課長	大久保 泰輔	主任指導主事	磯部 年晃
指導主事	河野 隆子	指導主事	糸永 啓士
社会教育主事	砥綿 麻衣		

○出席事務局職員（1名）

教育政策課 庶務担当係長	葉山 順子
-----------------	-------

○議事日程

1. 教育委員会会議録の承認について
平成31年第5回筑紫野市教育委員会会議録（平成31年3月28日開催）
2. 教育長の報告について
3. 議案第11号 財産（物品）の取得について
4. 議案第12号 筑紫野市奨学生の選考について
5. 部課長の報告について
6. その他

会議録

○教育長：定刻となりましたので、ただいまから平成31年第6回筑紫野市教育委員会定例会を開会いたします。では、議事日程の順序に従い、会議を進めます。なお、発言は議長の許可を得た後をお願いをいたします。

日程第1、教育委員会会議録の承認の件

平成31年3月28日開催の平成31年第5回筑紫野市教育委員会会議録について、承認することに御異議はありませんでしょうか。

○近本教育委員：12ページの真ん中あたりにコミュニティバスとありますが、青パトの間違いです。

○教育長：では、修正よろしいでしょうか。ほか、教育委員さん、よろしいでしょうか。

○（特になし）

○教育長：では、この件については承認をいただけますでしょうか。

○（特になし）

○教育長：承認をいただきました。

日程第2、教育長の報告の件

- ・朝の挨拶運動について
- ・教職員の心身の状況把握について
- ・4月18日実施全国学習・学力状況調査について
- ・管内教育長会について

今年度の学校教育・社会教育・人権教育について

学校における差別落書き等に関する指導及び教職員への周知について

- ・平成31年度福岡地区学力向上推進委員会について
- ・管理職等任用候補者選考試験について
- ・小中学校の運動会・体育会について
- ・天皇陛下の御退位及び皇太子殿下の御即位について

○田代教育委員：冒頭にありました4月からの通学の状況というところで、歩道のないところに青い色で歩道として塗っていただいているのですが、かなり剥げてしまい、車からもよく見えなような状況になっています。できたら、もっとはっきりとわかるように塗っていただけたらいいと思います。

○教育政策課庶務担当係長：道路管理者へ場所を言ってもらったら、多分すぐ塗られると思います。

○近本教育委員：白線などを校長がよかれと思って引いたことが新聞に載っていました。

○潮見教育委員：その校長先生は、罰せられていました。

○近本教育委員：その辺を踏まえて、手順を踏んで、言わなければならないところに言っていく必要があります。

○潮見教育委員：5ページの差別落書き等に関するというところで、教えていただきたいのですが、過去帳に関する事案とはどのようなことですか。

○教育長：これについては説明がありませんでした。

○潮見教育委員：「過去帳に関する事案も起こっており」とありますが、過去の事案とはどのようなことでしょうか。

○近本教育委員：士農工商などの身分制度が書いてあるものでしょう。これは55年ぐらい前のことです。全部、倉庫の中に秘密書類としてしまっていました。それは表には出ないようにしているから、そういうことも含めての過去帳ではないでしょうか。ですから、実際、それを見た人は余りいないと思います。

○潮見教育委員：それがいまだに出てきているということでしょうか。

○近本教育委員：差別文書で全国的に回っている中にはそういうものがあるのかもしれませんが。

○潮見教育委員：そういう古いもので、よくないことなら焼いてしまうか何か、処分したらいいでしょうに。

○西村教育委員：ゴールデンウィーク10連休が間近に迫っていますが、それに対して小学校の保護者から学童保育へ要望が出ていますか。また、長期連休になるので夏休みなどの活用を各学校がどのように考えられているのでしょうか。

○学校教育課長：学童保育状況につきましては、実施主体のちくしっ子ネットワークに確認しましたが、特に要望はないとのことですので、今のところ、あける予定はありません。

○西村教育委員：夏休みに連休分の振りかえや活用を、各小中学校で考えているところはありますか。

○潮見教育委員：授業時間が減ります。

○磯部主任指導主事：今年度の学校の余裕時数を昨年度末に計算してもらっています。そうすると、実は、今回の即位の日、そしてまたその前後、10月22日、合わせて4日間は余裕時数でカバーができますので、夏休みに特段の出校を要するようなことはございません。

もう1点、それに関して気がかりなことは、ここ数年の酷暑の関係があります。実は昨年、文科省から、逆に夏季休業期間を延ばせないかという通知が来ているくらいです。余裕時数ぎりぎ

りのところであるのは実情ですが、夏季休業期間中に新たな授業日を設定するのは少し難しいというのが現状です。

○近本教育委員：年度初めでいろいろ異動もあっていますが、その中で、職員集団として、子どもに職員を紹介しておかなければいけないと思います。例えば、図書司書は紹介しなくていいとか、支援員は紹介しなくていいとか、学校によっては、職員間でも紹介はしてもらっていない、子どもにも紹介してもらっていませんという職員も過去にありました。子どもたちも職員でもお互いに知らない、そういうことがやはり精神的にプレッシャーになる場合もあると思います。教職員、全部含めて職員集団と考えて、子どもにも職員にも、新しく来た人は全部紹介する方向で進んだほうがよいと思います。意見です。

○教育長：ありがとうございます。明日、市の校長会をいたしますので、私もそのあたりをきっちり指示しましょう。昨年からはじめた不登校対応指導員も、紹介を受けなかったという人がいました。子どもにも言わない、先生にもよく紹介がなかったということで、「このおばさんは一体何だろうか」という感じで見られたという状況を聞きました。関係する学校全体を回って紹介してもらうように、話をさせてもらいます。ほか、ございませんか。

○（特になし）

日程第3、議案第11号、財産（物品）の取得について

○学校給食課長：（提案説明）

○田代教育委員：平成4年に購入したものと8年に購入したものがあるとの説明でしたが、4年後ぐらいにもう1台のほうも入れかえということですか。

○学校給食課長：既に両方とも20年を経過しており、これは予算措置も伴いますので希望としてしか申し上げられませんが、やはり運営のリスクを回避し、運営の安定性を高めるためには、早いうちにもう1台を要望していきたいと思っています。

○田代教育委員：毎日2台両方とも稼働している状況ですか。

○学校給食課長：はい、毎日2台が稼働しています。

○教育長：毎日3万点の洗浄です。それだけ早く老朽化していくのかもしれませんが。

○西村教育委員：二十何年、よくもっているほうだとは思いますが。機械物で27年は長いと思います。もう部品の交換もできない状態でしょう。大切に使われてるんだらうなと思います。

○教育長：では、この件については、議案どおりよろしいでしょうか。

○（特になし）

○教育長：承認をいただきました。

日程第4、議案第12号、筑紫野市奨学生の選考についての件

○学校教育課長：（提案説明）

○教育長：この件につきまして、質疑等ありませんでしょうか。

○（特になし）

○教育長：質疑なしということであります。承認ありがとうございます。予定しておりました議題は無事に終了いたしました。

各課等の報告

○教育部長

- ・令和元年第3回の市議会等の日程等

○教育政策課長

- ・平成31年教育政策課人権・同和教育担当報告事項

（平成30年度人権問題啓発活動について、平成30年度に発生した筑紫野市における差別事象の報告について、人権・同和教育担当の平成31年度年間事業計画について、筑紫野市同和問題研究会（市民会員）募集について）

○潮見教育委員：とても詳しくまとめていただいて、ありがとうございました。感想ですが、子どもたちが「キチガイ」とか「ガイジ」とかいう言葉を使った背景には、単なる相手に対して言ったというだけではなく、家庭環境などいろいろな背景があるのではないかと思います。この主な指導内容のところを読ませていただいていて感じるもの、推測されるものが、子どもたちの身近にこういう言葉があるということです。「キチガイ」「ガイジ」といった言葉を軽い気持ちで使っているというところで、多分日常的にそういう環境があるのかと思うわけです。

そこで一つ提案です。去年でしたか、社会体育現場などで先輩や周りが使っていたりするというお話も聞きましたので、どれぐらい使っているかということを経験者に対して、アンケート調査などをしてみたらどうでしょうか。指導者の方への啓発にもなると思います。どれぐらい子どもたちが安易にこういう言葉を使っているかということも調査されたらどうかと思いました。

体育協会でも研修は熱心に年2回ぐらいしていますが、やはり限られた人しか出席していないので、指導者全体にそういうところへ目を向けていただくことが大事ではないかと思いました。

○教育政策課長：差別事象についてお示ししているのは、学校現場だけですが、もしかすると、そういったスポーツ活動の中でヒートアップして相手をけなす言葉として使われたり、あるいは自分たちの仲間の中でもそういった言葉が軽々しく使われているといった現状が、あるのかもしれない。ですから、そういった意味でも、指導者へのアンケートも一つの方法かもしれません。これは文化・スポーツ振興課と、どのような方法でやればいいのかを打ち合わせしながら、また、

アンケートはどのような項目がいいかなど検討していければと思います。

○田代教育委員：社会体育の現場では、例えば、指導者が指導します。そして、大会や練習の場面でうまくいかなかったり、エラーしたり三振したり、いろいろな場面があったときの言葉は、やはり汚い言葉です。「このばかが」とか「あほが」とかです。それがごくごく当たり前のような言語になっています。以前、近隣市で社会体育のチームではなくソフトボールの塾のようなどころがありました。ソフトボール塾に入っている生徒に対して指導している様子を見ていたら、実に優しい言葉でした。お母さんたちもずっと周りで見ているわけです。「〇〇君、うまくいかなかったね」とか、そんな言い方でして、こういうのもあるのかと思いながら見ていました。しかし、いい言葉ではない言葉で指導しているところが多いと思います。その辺の意識を変えていく必要があると思います。

○近本教育委員：ガイジ発言が出てきたのは、周りから聞いて私が捉えているのは、やはり社会体育だったと思います。中学校の野球大会とかそういうところでした。これは、筑紫野市の市民から話を聞きましたが「先生、来てんしゃい、もう聞かれた話じゃない」と言われました。「そういう言葉が当たり前のように出る、筑紫野市はどうか」と言われました。私も経験したことがあります。それは何で出ているかという、勝利至上主義のところから出ているようです。ですから、失敗したらやられるのです。失敗したら、みんなで支え合うような言葉ではないのです。そんなふうに勝利至上主義に走ることに一つの大きな要因があると思います。言ったほうも、やはり勝ったほうがいいと思うから言うのです。しかし、それが余り走り過ぎということではいけないと思います。だから、これは学校教育と社会教育とをドッキングさせていかないといけないと思います。

それともう一つは、家庭です。例えば、飼っている猫を父親が玄関で投げ殺してしまった、そういう残酷なことをしていると、その子どもは中学生で、人をたたいても暴言を吐いても当たり前のようになっているのです。そういうような背景の中にはあるので、これを指導していくには根気強くしていく必要があります。一度言ったからといって、ぱっと終わるというわけではありません。また、それを指導しない人が悪いということにもなってはいけないと思います。許容範囲を広げながら、巻き込むような言動、そういうものを心がけていくようなことを指導者には、どこかで指導していくということが大切ではないでしょうか。そう思います。

オリンピック大臣が、「オリンピック憲章は読んだか」という質問に対して「読んでない」と答えたのがありました。あのオリンピック憲章の中には人権というものが物すごく出ているわけです。ですから、筑紫野市の学校でも読んでないことがあるかもしれないので、読みすすめておいてもらうように伝えるといいと思います。

○教育長：オリンピック憲章ですね。大変貴重な御意見、感想をありがとうございました。

○田代教育委員：どうしてもその段階で指導者は栄光というか栄冠を求めますから、小学校は小学校なりに全国大会を目指す、中学校でも目指す、高校でも甲子園を目指すといったようなことがあります。ところが、一個の人間として考えたら、どこかでピークがあるはずです。そうすると、指導者は、それぞれの段階で100%、120%を求めるような指導をどうしてもしがちです。自分のときに輝かせてあげたいと思うからです。でも、その本人にとってはおそらくそうではないでしょう。この辺はゆっくり鍛えたほうがいいのか、いろいろな成長の段階もあると思います。

○近本教育委員：中学生、高校生をそれでだめにしたスポーツもあります。肩がだめになったり。投球を100メートル近く投げられるからたくさん使われてだめになったとかあります。選手生命やプロでもだめになってしまう、幾つかそんな例があります。

○田代教育委員：その辺を指導者に求めるのは難しいことかもしれませんが、考える時代に来ていると思います。

○教育長：ありがとうございました。特に、田代委員はソフトボールを通じていろいろな指導者を見てきてらっしゃるので、非常に含蓄があります。いろいろと御意見を本当にありがとうございました。取り入れるものはぜひ取り入れて、少し改善のほうに向かいたいと思います。

○潮見教育委員：一つだけ質問ですけれども、学校の件数が出ています。これは、同じ子どもさんが何回もしているケースがあるのか、それとも大体1回指導したら次はしないのか、どうでしょうか。

○教育政策課長：一度発言をした子どもが二度とやってないかということまではわかりません。上がってくる報告はほとんどがそれぞれ別です。ただ、その子がひょっとしたら昨年度発言をし、また今年度も周りの仲間が変わったりして発言をしているという、その辺の可能性としてはあるかもしれませんが、私が今、随時内容を見る限りでは、同じ子どもが何度もということはないようです。

○西村教育委員：よく、差別事象の報告を分析されていると思います。言葉の意味を考えずに発している場合が多いと思います。障害者に対する差別としてここでは挙がっていますが、「キチガイ」「ガイジ」という言葉を、子どもは障害者の方とは結びつけずに、言葉として発していると思います。ここに書いてあるように、相手を見下す言葉として使っていて、障害とは関係ないという考え方になっていると思います。ですから、そういうことを教えていくことも大事だと思いますが、やはりいつも言っているように、小学校の低学年など早い時期にしっかり家庭と連携をとって、こういう言葉の学習をして、参観のときに「こういう言葉を家で使っていないですか」としっかり伝えることが大切だと思います。小学校1年生になると、いろいろな幼稚園やいろいろな地区の子と交わるようになり、また急に言葉がふえて、今まで使っていなかったような言葉をいっぱい使うようになるので、小学校に入学してすぐからの家庭との連携で、こういう言葉遣

いについてしっかり考えていただくことが必要と思います。

それから、筑紫野市はすごく人権問題をしています。他市から転入された方など、全然わかってない言葉や活動になっていると思いますので、細かくいろいろな場面で、「筑紫野市はこういう人権教育をしています。」と発していくのがいいかと思います。

○学校教育課長の報告

- ・入学式への御出席のお礼

○学校給食課長の報告

- ・5月分の献立表について

○田代教育委員：中学校のほうは19日に体育会があったときは20日が代休です。そして、21、22日は弁当を持ってくるという形でしょうか。

○学校給食課長：はい、そういう形にしたいという予定です。

○田代教育委員：そういったときに、生徒たちはキッチンと弁当を持ってきているのですか。

○河野指導主事：現場は、事前に、雨が降ったらこうなる、弁当が要る要らないという表を、保護者と生徒に周知していますので、大半はそれにきちんと合わせて持ってきます。保護者の方が届けられる場合もあります。ただ、やはり持ってきていない子どもも、各学年に10名近くぐらいは大きい学校ではありました。そういうときは保護者に連絡を入れて善処していただいたりします。

○西村教育委員：給食提供がない日にちが長くなった当初は、お弁当忘れや運動会はあったから給食はあるという勝手な思い込みがあったようで、そのときは随分、先生方も苦勞されたようですが、もうかなり定着してきていますので、お弁当をつくるのが難しい御家庭はパンを持ってきたりとかもあるみたいです。

○生涯学習課長の報告

- ・平成31年度生涯学習関連事業予定表について
- ・第19回ドラゴンロックフェスタについて

○文化・スポーツ振興課長の報告

- ・第34回筑紫野市民水泳大会について
- ・図書館の特別整理期間について
- ・筑紫野市文化会館大ホールの天井の耐震化の改修工事の件

○文化財課長の報告

- ・武蔵寺の長者の藤の藤供養会について

○教育政策課長：5月17日、総合教育会議を開催します。事前の勉強会を5月13日月曜日の14時から行いたいと思います。

○西村教育委員：昨年もお伝えしましたが、今年は、九州PTAの総会が福岡開催だと思います。皆さん、情報があったらお忘れなくお願いしたいと思います。

○教育長：いつぐらいですか。

○西村教育委員：秋ぐらいではないかと思います。10年前のとき、筑紫野市だけ教育委員会から誰も参加がなかったということが実体験としてあるので、よろしく願いいたします。

○潮見教育委員：私たち教育委員は関係あるのですか。

○西村教育委員：教育委員さんで来られている方も多かったです。教育長参加というところも、市長参加というところもありました。

○教育政策課庶務担当係長：たしか10年前は、フェスティバルと同じ日だったと思います。

○潮見教育委員：生涯学習フェスティバルのときで、誰も行けなかったという訳ですか。

○西村教育委員：はい。しかし小中学校の先生全員参加、PTA、保護者も参加となっていたのに、教育委員会は何で誰も来ていないのだろうというのが皆さんの意見でした。

○近本教育委員：案内は来ていましたか。

○西村教育委員：しっかり渡しているらしいです。手渡ししたと聞いております。

○潮見教育委員：私たちは来てないです。

○田代教育委員：学校にきちっと案内は行っていたのでしょうか。

○西村教育委員：先生も保護者も参加しているのに、教育委員会だけが誰もいなかったのです。

「フェスティバルと重なっているからですね」というような言い方で終わられたと聞いております。先生方も保護者も皆さん参加されていました。

○教育長：これをもちまして、平成31年第6回筑紫野市教育委員会定例会を閉会といたします。